



# 2015 レース結果報告書

**DOG FIGHT R**

株式会社ドッグファイトレーシング

# レース

## Race

今季2度目となる鈴鹿サーキットへのレース遠征。前回は東コース。今回は西コースへの参戦となり、6月に迎える2時間耐久（フルコース）に向け、走り込みとマシンセットアップの為のデータ取得を兼ねて参戦して参りました。残念なことに伊能選手は直前に体調を崩し、今回の参戦は叶いませんでしたが、折川選手がその分も穴埋めするようにウエット、ドライしっかりと走り込み調子を上げてくれております。そのレース結果をご報告いたします。

トンベイ名：鈴鹿サンデーロード選手権 第2戦

開催日：2015年5月10日

開催地：鈴鹿サーキット(西コース)

スーレ結果： ST250 #61 折川翔馬 予選10位 決勝8位  
ST250 #78 伊能直矢 不出場

WEBリザルト：[http://www.suzukacircuit.jp/result\\_s/2015/sundayr/0510\\_st250\\_f.html](http://www.suzukacircuit.jp/result_s/2015/sundayr/0510_st250_f.html)



# 公式練習・予選

## Race

### 事前テスト

伊勢出身の折川ですが、鈴鹿サーキットの走行経験は東コースの2回だけで、西コースの経験はゼロ。チームにとってもYZF-R25での鈴鹿の走行は前回のレースの東コースのみで西コースのデータは全くありませんでした。そこでレース1週間前の5月3日のスポーツ走行に参加。3本のスポーツ走行で徐々にフィーリングを掴み1分41秒までタイムアップ。コースレコードが1分38秒中盤の為、初回のテストとしては先ず先ずのデータを持ち帰る事が出来ました。しかし残念な事に、この日の走行で、他チームの有力ライダーと絡む事が出来ず比較検証といった意味では手探りのままテストを終える事になりました。持ち帰ったデータを分析して、ライダーとのミーティングの結果、減速比の変更(茂木よりもショートに変更)や車体姿勢の変更(フロント荷重のアップ)などを施しレースウィークに臨む事になりました。

### 公式練習

公式練習の土曜日は天気が下り坂になり走行直前に降り出した雨で路面はウエットに。日曜日の予報が晴の為ほとんどのライダーが出走を取りやめる中、データ取得の目的もあり折川選手にはレインタイヤでの走行を実施しました。走行時に雨も上がり、気温の暖かさから次第に路面も乾き始めます。折川選手は徐々にペースを上げ、減速比や車体姿勢の確認を行い1本目の走行を終了。選手権上位を走るトリックスターの山本選手が手元計測で1分43秒を記録する中、折川選手のタイムは1分48秒と大きく後れを取ってしまいます。続く2本目でも走行前に雨が降り再びレインタイヤで2回目の走行を実施。1本目で下げたリヤの車高をドライと同じ高さまで戻し、フロントのセットも若干柔らかくする方向にスプリングレートを変更して走行を開始すると、1本目よりも確実にペースを上げて周回を重ねる折川選手。ベストタイムは1分45秒までタイムを上げ上位との差を詰めて初日を終わりました。

# 決勝

## Race

### 公式予選

日曜日は朝から好天に恵まれ路面温度も上昇。公式予選はドライコンディションとなり、やや強めの追い風が吹く中で始まりました。折川はドライセットアップに変更した車体で真っ先にコースイン。後方からペースの速い車両が追い抜いて行くのを捕まえて自身もペースアップを図る作戦です。このクラスになるとスリップストリームを上手く活用することでタイムは0.2~0.3秒はストレート1本で変わってしまうため、その点も踏まえた作戦ですが、前日の雨ではフィーリングの良かった減速比が、ドライに変わったコンディションと一気に上がったペースに対してショートになりすぎてしまい。トップスピードが伸びない状態で前方車両を追いかける展開となってしまいました。このため自己ベストは更新しましたがトップから3秒以上も離される1分39秒1のタイムで総合10番手で公式予選を終えました。

### 決勝2

車体やエンジンのフィーリングは特に問題がないため、減速比を変更して午後に行われる決勝レースに臨みます。風は益々強くなり、ホームストレートではかなりの追い風状態の中決勝がスタートしました。抜群のスタートを切った折川選手は1列前の集団に入り込み第一コーナーに進入。しかし経験の浅さから続くショートカットの第2コーナーで後続に一気に抜き返されてしまいオープニングラップを8番手で通過。まだまだ集団は一つの大きな塊でコントロールラインを通過しますが2周目に入った第一コーナーで3番手を走る兵藤選手が転倒。これに引き込まれるように3番手集団がペースを乱してしまい上位2台との差が大きく開くことになってしまいます。折川選手もペースを乱してしまいますが、5番手争いの集団の中で一進一退の攻防を繰り広げ、自己ベストを大きく上回り、コースレコードに匹敵する1分38秒台までタイムを上げて周回を重ねます。ラストラップ前には9番手まで順位を下げ、更に後方から激しくプッシュされる折川選手ですが、ラストラップで前方の車両を再び抜き返し8番手でチェッカーを潜りました。

# レースリザルト

日時	イベント名 クラス	ライダー	予選	決勝	ベストタイム
3月22日	茂木選手権第1戦 ST250	折川翔馬 伊能直矢 武佐英典	3位 4位 6位	1位 2位 3位	2分19秒2 2分18秒9 2分20秒1
3月29日	鈴鹿選手権第1戦 (東)/ST250	折川翔馬 伊能直矢	16位 18位	リタイヤ 12位	1分04秒073 1分04秒328
4月4日	筑波選手権第1戦 ST250	折川翔馬 伊能直矢 武佐英典	5位 4位 6位	4位 10位 11位	1分09秒394 1分09秒506 1分10秒025
4月19日	茂木選手権第2戦 ST250	折川翔馬 伊能直矢 武佐英典	2位 4位 6位	3位 4位 5位	2分20秒08 2分19秒79 2分21秒78
5月10日	鈴鹿選手権第2戦 (西)/ST250	折川翔馬 伊能直矢	10位 不出場	8位 —	1分38秒4 —
6月7日	鈴鹿選手権第3戦 (全・2時間耐久)	折川翔馬 伊能直矢			
7月5日	茂木選手権第3戦 ST250				
7月18日	筑波選手権第3戦 ST250				

# 総括

## Summary

今回は伊能の不出場で孤軍奮闘する形になった折川ですが、不慣れな西コースでも積極的な走り込みと、アグレッシブなレースを見せてくれており、6月の2時間耐久に向け多くのヒントと、マシンデータを収穫できました。鈴鹿は地元の猛者も多く、国際A級の有力ライダーも参戦する激戦区で、アジア選手権に参戦するトリックスターの山本、兵頭の二人や、かつてのST600王者、安田毅史、そして鈴鹿を知り尽くした岸田選手や、中村選手などに交じり獲得した総合8位は、参戦初年度としては非常に価値のある数字だと思います。またスタンダードサスをベースにこれまで戦ってまいりましたが、そろそろ限界が近づいており、次戦より新パーツの投入を行い戦闘力を上げてゆきたいと思います。この後の2時間耐久、そして最終戦の鈴鹿で、さらにレベルアップを図り、これらの上位を打ち破り一つでもポジションを上げてゆけるよう、精進を続けて欲しいと思います。

次戦はいよいよ耐久レースシーズンが始まります。鈴鹿2時間耐久に始まり、茂木、筑波の選手権を挟み、茂木7時間耐久と夏の耐久レースが続きます。マシン開発と共にチームの総合力を高めて上位表彰を目指して精進してまいりますので、引き続き宜しくお願い申し上げます。

ドッグファイトレーシング  
代表 室井秀明

# ギャラリー

## Gallery



株式会社ドッグファイトレーシング  
代表 室井 秀明

〒271-0061

千葉県松戸市栄町西4-1195-4

TEL047-703-3030 / FAX047-308-1122